

1 これまでの経過

日付	国の対応	県内の感染状況	県の対応
1月30日	・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置		
2月3日			・第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催
2月25日	・新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を発表		
2月28日	・内閣総理大臣が小中高等学校等における全国一斉臨時休業を要請		・県内の小中高等学校等における一斉臨時休業（3/2～）の通知を发出
3月3日			・第2回本部会議の開催（県の主催するイベント等に関する対応方針等を決定）
3月4日		1例目	・第3回本部会議の開催（1例目の発生に伴う対応方針等を決定）
3月13日	・新型インフルエンザ等対策特別措置法を改正		・第4回本部会議の開催 ・知事メッセージ发出（手洗い、咳エチケット、3密を避けるの要請、「みんなが宮崎を元気にする行動プラン」）
3月23日			・第5回本部会議の開催
3月26日	・特措法に基づく新型コロナウイルス感染症対策本部を設置		・第6回本部会議の開催 ・県立学校の教育活動再開（4/1～）通知
3月27日			・令和2年3月専決補正予算
4月2日			・知事メッセージ发出（4月を「感染症拡大防止月間」と位置づけ、東京や大阪など感染拡大地域への不要不急の往来自粛等を要請）
4月6日		※ 11例目	・第1回新型コロナウイルス感染症対策協議会の開催
4月7日	・「緊急事態宣言」を7都府県に発令 ・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を決定	12例目	・知事メッセージ发出（緊急事態宣言の対象地域への往来自粛、対象地域滞在者に外出自粛、毎日の検温測定等要請）
4月8日		13～ 16例目	・第7回本部会議の開催 ・新型コロナウイルス感染症対策調整本部事務局を設置
4月11日	・宣言対象外の道府県に対し、外出自粛を要請（本県含む）	17例目	・知事メッセージ发出（繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛を要請）

4月16日	・特措法に基づく「緊急事態宣言」の対象拡大を発表		
4月17日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回本部会議の開催</li> <li>・知事メッセージ発出（緊急事態宣言を受けた県外との往来や外出の自粛、県立学校の臨時休業（4/21～）、「みんなで宮崎を元気にする行動プラン」改定等）</li> </ul>
4月24日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊技、遊興施設に対して4月25日から5月6日までの休業を要請</li> <li>・第2回新型コロナウイルス感染症対策協議会の開催</li> </ul>
4月30日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回本部会議の開催</li> <li>・知事メッセージ発出（休業要請、地域経済対策等）</li> <li>・令和2年4月補正予算</li> </ul>
5月4日			・第10回本部会議の開催
5月11日			・休業要請を解除し、「強い警戒態勢」へ移行
5月14日	・本県含む39県の緊急事態宣言解除		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回本部会議の開催</li> <li>・第1回新型コロナウイルス感染症緊急経済対策本部会議の開催（経済対応方針骨子の決定）</li> <li>・知事メッセージ発出（緊急事態宣言解除の考え方、新しい生活様式、経済対策等）</li> <li>・本県、県議会、市町村等の地方6団体連名で、関係省庁等に経済対策への支援等を要望。</li> </ul>
5月15日			<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済雇用対策WG会議（16経済団体、25市町村）</li> <li>・令和2年5月専決補正予算</li> </ul>
5月19日			・「新型コロナ宮崎復興応援寄附金」募集開始
5月26日	・全都道府県での緊急事態宣言解除		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回本部会議の開催</li> <li>・知事メッセージ発出（5/27）</li> </ul>

※3月17日から4月5日までに2例目から10例目までを確認

## 2 相談・検査体制及び医療提供体制の整備

### (1) 相談・検査体制

- ・2月5日に「帰国者・接触者相談センター」と同外来を設置。(2月21日からは24時間体制)
- ・県衛生環境研究所及び宮崎市保健所においてPCR検査を実施。

1日当たりの検査可能数

24件 → 72件 → 96件 → 120件 → 168件

- ・上記に加え、都城市郡医師会において保険診療による検査を開始(6月1日から)

1日当たりの検査可能数 最大14件

相談件数			検査件数
計	一般相談	帰国者・接触者相談センター	
17,718	4,151	13,567	1,362

※5月26日集計

### (2) 医療提供体制

- ・病床の確保など必要な医療体制について協議する「宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会」及び同調整本部を設置し、協議。
- ・感染症指定医療機関(7病院31床)に加え、協力医療機関における患者受入病床204床、軽症者等の宿泊療養に対応する宿泊施設200室を確保。

## 3 感染防止のための措置

### (1) 県民への自粛要請

[趣旨：県の対応方針(3月23日)]

- ・感染者の濃厚接触者に対して、14日間の健康観察の実施及び外出自粛
- ・全国から人の集まるイベント等は、県内全域で原則、開催制限

[主な内容]

4月 2日 東京や大阪など感染拡大地域への不要不急の往来自粛等の要請

4月 7日 緊急事態宣言の対象地域への往来自粛

4月11日 繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛の要請

4月17日 緊急事態宣言を受けた県外との往来や外出の自粛

5月 7日 ・不要不急の帰省や旅行など、県境をまたぐ移動の極力自粛(特に、特定警戒都道府県への滞在は避ける)

- ・幅広い外出自粛は解除

- ・感染拡大を予防する新しい生活様式等を徹底

5月26日 県外往来自粛を解除(6/1から)

(5都道府県及び感染流行地域の往来は慎重に)

### (2) イベントの中止・延期等

(当初開催予定日)

3月27～29日

第8回アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI

4月26～27日

東京2020オリンピック聖火リレー

5月4日

第31回ゴールデンゲームズ in のべおか

5月30日～6月7日 第47回県高校総合体育大会

4月29日～5月17日 第25回宮崎国際音楽祭

(3) 学校等の休業

[県立] 3月 2日～春休み前日

4月21日～5月24日

※5月11日より登校日を設け、分散登校・時差登校を実施

※5月25日から完全再開

[市町村立] 3月 2日～3月26日 (各市町村により一部日程が異なる)

4月21日～5月24日 (各市町村により一部日程が異なる)

※宮崎市は4月7日午後～4月20日、国富町は4月8日～4月20日、  
日南市は4月9日～4月23日も臨時休業を実施

※5月11日より登校日を設け、分散登校・時差登校を実施

(4) ゴールデンウィーク (GW) 以降の主な対策

① 県境を越えた往来の自粛要請

ア) 県民に対する要請

不要不急の帰省や旅行など、県をまたいだ移動を避ける。(特にGW期間中は往来自粛を徹底)

イ) 県外に対する要請

帰省・出張や旅行(特にGW期間中)などの来県を自粛。やむを得ず来県された場合、感染拡大防止対策(帰県後2週間の外出自粛、マスク着用・毎日の体温測定等)を徹底。

※水際対策として、4月29日から空港にてサーモグラフィーによる検温及び発熱者への呼び掛けを開始

② 交通機関の利用状況

ア) 航空(5月18日現在)

国内線は、3月以降、5月31日までに4,335便が減便、又は減便を決定。  
1日では最大で約75%の減便(50往復→12往復)。また、4月の利用者数は、対前年比▲88.9%。

国際便は、3月以降6月30日まで全ての便が運航を停止。

イ) 鉄道

GW期間(4/26～5/6)中は、本県内における特急列車の約55%(780本中429本)が運休。(5/2～5/6は、全ての在来線特急列車を運休。)

利用人員数ベースでは、南延岡～宮崎で前年比▲84%、宮崎～都城で前年比▲90%。

ウ) 高速バス

福岡、熊本、鹿児島、延岡、高千穂、大分、新八代、長崎を結ぶそれぞれの路線で5月31日までの間、減便や全便運休を実施。(宮交高速バスは、GW期間中においては、164便中78便の減便)

利用者数ベースでは、4月全体では前年同期比▲80%。

エ) 路線バス

利用者数は、4月全体では前年同期比▲50%。5月1日以降においても、平日79便、土曜98便、日曜90便の減便。

オ) 貸切バス

バス協会加盟28社の3月の稼働率は6%にとどまっており、4月以降もキャンセルが多く見られる。

カ) フェリー

旅客について、GWの利用者数は前年比▲98%。

キ) 高速道路

GW期間中の車両通行数は、東九州道（高鍋・西都間）前年比▲68%、宮崎道（田野・清武間）前年比▲67%。

③ 来県の目的となり得る施設等の休業（GW期間）

- ・サーフィン客対策として、車両進入禁止  
（県外からのサーフィンを目的とした来県を自粛するよう、ホームページで周知）
- ・えびの高原や青島等、県内主要観光施設の駐車場の閉鎖 等

④ 宿泊施設の状況

多くの宿泊施設でGW期間中の休業を実施。新型コロナウイルスの影響によるキャンセル人数は、5月20日時点で348,637人にのぼっている。

⑤ 観光地等の状況

ゴールデンウィーク中の閉園施設が多かったが、開園していた施設も多くの施設で入込客数が前年比90%以上減少するなど、大きく落ち込んだ。

#### 4 現在の県内の感染状況

本県では4月11日に17例目の感染が確認されて以降、新たな感染者の発生はない。感染者ゼロの岩手県を除くと、この期間は全国で最長である（5月27日現在）。